



学校だより

後 川

No. 37

令和2年2月12日（水）発行
四万十市立後川中学校

入賞おめでとう！

暦の上では立春を過ぎ、春の訪れが待ち遠しい季節となりました。この冬は暖冬のせいか過ごしやすい日が多いように感じます。本校の生徒はまだインフルエンザに感染していませんが、体調管理は十分気を付けてほしいと思います。

2学期に引き続き、文化的な面における表彰の知らせが届いています。9日の英語弁論大会に出場する前々日には門田さんが全校生徒の前で弁論を披露してくれました。生徒も温かな言葉で送り出したことでした。様々な面で自分の思いを表現した皆さん、入賞おめでとうございます。

○第22回 四万十ライオンズクラブ 英語弁論大会

特別賞 2年 門田 来実さん

○令和元年度人権作文コンテスト高知県大会

奨励賞 3年 矢ノ川 英杜 君 永野 透真 君 2年 門田 来実さん

利岡小への読み聞かせ～「ものぐさトミー」～

今年度最後の利岡小への読み聞かせ（2月12日）は3年生全員による「ものぐさトミー」でした。ものぐさなトミーが食事やお風呂、着替え、歯磨きなどをすべて機械に頼ってやってもらうのですが、停電でいつものように動かなくなって大変な結末になってしまうというお話です。AI導入で予想もつかない未来がそこまできていますが、自分で考えて、判断し、行動することはこれから生き抜く子ども達にはこれまで以上に大切になってくることを想像させます。3年間、読み聞かせをしてきた中学3年生も本を通して様々な思いを伝えてきたと思います。6年の児童会長の林さんが「中学生になったら、今度はこの読み聞かせをやっていきたいと思います。」という言葉に今後も引き継がれていく小中連携のよさを感じたことでした。



えびっちょの会の皆様

1年間ありがとうございました！



本校に来てくださっている地域のボランティア「えびっちょの会」の皆様今年度は9回読み聞かせをしていただきました。今年度最後（2月3日）は「浦島太郎」の劇を熱演して下さいました。舞台の背景画や小道具、衣装などが手作り、アドリブも入った息の合った楽しい演技に笑顔いっぱいの生徒達でした。地域の子どものために保育所・小学校・中学校で読み聞かせや劇で活動をしている皆様に、感謝の気持ちでいっぱいです。生徒の成長の様子をいつも温かく見守っていただき、本当にありがとうございます。地域の方の交流を続けることで、生徒の感想を伝える力が向上するとともに、校外でお会いした時に自然に挨拶ができるようになってきています。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。